

議会報告会意見集(平成29年10月10日)【安田】

<空き家対策>

No.	意見等	回答
1	地区振興センター・保健センターについて廃止の意向があるが最終決定されたものか。地域ではこれが課題である。	議会にも現時点でのスケジュール案が示されたところで決定ではありません。
2	住民票発行事務が郵便局への委託や地域自治組織による代行業務として案が提示されているが、証明書の発行の最終責任は市であると理解して良いか。	議会でも責任の所在について議論されています。
3	地域マネージャーの雇用について2年前 安田地区で市長は、人件費は1000万円確保されると話された。その時から後退した話となっているが、議会では話はなかったか。	当初の説明では1000万円で地域マネージャーを含め雇用についての話はありました。それが変わって公民館は残すが、地域自治組織での雇用は500万円となりました。
4	1000万円の話に騙されてやってきたが、ここに来て500万円とは。議会としては、しよがないことになっているのか。	この問題以外にも変わったところがあり、議論しています。結論は出ていません。
5	体制としては、公民館長1名、職員1名、そして地域自治組織として500万円の範囲での雇用となるが、誰が指示するのか。	地域自治組織の会長がします。500万円の人件費は場合によっては二人も考えられ、人件費がこれからも確保されるかが議論されています。
6	担当課が議会で話す内容と地域自治組織で話す内容が同じ内容かはっきりしない場面がある。議会で議論されている内容を、地区の代表として出ている議員からアドバイスとしてあっても良いのではないか。住民が燃え上がって設立した組織に対して新しい情報は入れるべきである。議員は高見の見物をしているのではないか。地域自治組織はトップダウンの号令では出来ない。地区内の盛り上がりで出来る。設立しても、これから市の業務を背負わなければならない。この事は今まで聞いたことはない。設立した9地区で討議した。安田としては、今までやってきたことを地域自治組織が束ねた形で設立した。何も変わっていない。このようなことを各地区に作っても新鮮味はない。ただ、津田の駅舎の利用については単純に手を挙げたが大変な苦勞を強いられている。担当課に寄せられたような感じであり、片方は何もしない、一方は大変だとアンバランスである。このような行政の在り方はおかしいのではないか。	執行部からは説明はうまくやっていると聞いています。議員は地域自治組織には問題があると思っています。
7	地域自治組織について500万円の補助が終わったら自治組織も終わりにならないように継続することが大切である。そのためには地域の議論が必要である。	意見のため回答はありません。
8	安田と小野は保健センターの職員が一人減となり、この度更に一人減となる。減となった人に対して、市は囑託だから明日から来なくてもいいといっているが、議会では問題にならないのか。	雇用体制は問題になっており内部調整しています。

9	地域自治組織の設立のために魅力化事業を延長している。事業金額が1年90万円です。ほとんどがボランティアである。自分たちの地区を守るための活動に対しては、支援すべきである。これが魅力化事業ではないか。津田の駅舎の活用についても、市は事務的なことだけで大変苦労している。また、公民館職員二人については、嘱託でなく市の若い正規職員配置すれば、20日の勤務体制は確保できる。公民館を嘱託の勤務体制で閉館することはおかしい。議会で追及して頂きたい。	雇用体制は問題になっており内部調整しています。
10	地域自治組織と同居する公民館でなく、公民館の設立目的に合った運営をすべきではないか。自治組織の事務所を津田に移して、市のことはしない。魅力化事業をするに際して、同じ場所に館長・職員・マネージャーがいれば、地区の人から同じようにみられる。しかし、この縛りはあると思う。人口拡大課から要請があればNOは言えない。何とかしますの回答だけである。NOは議会しかできない。	業務の線引きをどこにするかは難しい問題だと思います。意見として執行部に伝えます。
11	公民館の運営に際して、閉館日もありうるといった考えのずさんさでトップダウンをされるのは、おかしい。	執行部と議論します。住民主導ではなく官制主導となっており、矛盾点が出ています。
12	地域自治組織設立に向けての予算について 毎年予算が減額されると聞いている。それを地域自治組織に当てはめられては活動ができない。継続した支援をお願いする。	執行部に申し入れます。

<道の駅>

13	道の駅について大きい事業が推進されていると認識している。	意見のため回答はありません。
----	------------------------------	----------------

<街路灯設置事業>

14	街路灯設置事業について当初予算が6月に上限に達して、あとは9月補正の対応となる予定で準備を進めたが、のちの通知では今年度終了となっていた。予算審議が議会で不十分ではないか。町内会では3か年計画で考えていた。途中で打ち切りにならないように、強く要望する。	9月補正にはなりません。現状を調査して来年度予算で対応する予定としています。議会からも円滑に進められるように要望します。
----	--	--

<子育て支援>

15	益田市病児保育施設について設置されて良かった。	預かった子供さんの様子が変わった時は、日赤ではなく、かかりつけ医に連絡することになっています。
----	-------------------------	---

<空港関係>

16	空港維持に多額の資金を投入している。自衛隊誘致の話もあるが、今回の二便化継続期間中に方向性を見出すべきではないか。	費用対効果を含め市民の方の理解は難しい場合もあると考えます。この度県の職員が3名配置されました。今後県の主導で方向性が示されます。
----	---	---

<道路関係>

17	山陰道について早期建設に向けて議会としても強力な推進を願う。	議会としても早期建設に向け努力します。
----	--------------------------------	---------------------

<議会運営・その他>

18	市議会議員定数について前回の選挙で議員定数26名から22名になり、議会運営上の支障はあったか。	定数のあり方には議論はある。現在3つの委員会があり、議長を除き1委員会7名で構成しています。その中で委員長・副委員長を選出すれば委員は5名となり、現状では妥当と思います。
19	市議会議員定数について定数削減による4名分の議員報酬の用途について。	全体の予算から、4名分削減された議会費予算で運営されています。
20	益田市の予算は厳しくなる中、市の職員給与をどう思っているか。市の広報でも公開されている。地域の民間のことを考えると高い。家を建てるのも公務員である。これからの益田市の予算を考えると、市民の為の職員になるようにして頂きたい。	市内の民間給与と比べれば高いが、若い職員が多く他市と比較すれば人数・給与総額も低い。今は若手を育てる時期と思っています。

議会報告会意見集(平成29年10月10日)【中西】

<空き家対策>

No.	意見等	回答
1	空き家対策について地域としての対策は。(環境面からも)	環境面はこれから法整備が必要と考えます。
2	空き家対策として10人規模で空き家を工場として活用してはどうか。草刈をしないので動物の住みかになっている。	中西には32件空き家があり、持ち帰り検討します。 ⇒現在益田市で取り組んでいる空き家対策としては空き家バンク事業がありますが、空き家バンク事業は住居のみを対象としており、事業所や店舗などは空き家バンク事業を活用しては利用できません。市内の他地区では、地区住民が空き家調査、管理を積極的に行い、空き家バンクと連携することで、UIターンの成果につなげている地区もあります。草刈については個人の財産であるため個人での管理をお願いしています。

<農業>

3	中垣内の棚田がさびれてきている。	農業委員16名、農地利用最適化推進委員が24名、計40名いる。農地中間管理機構と相談しながら現在進めています。
---	------------------	---

<ファクトリーパーク・企業誘致・産業振興>

4	ファクトリーパークから191へ接続する道を県道へ格上げして整備してほしい(高速道路ができる前に整備しないとできなくなる。)	シーリングもあり、社会資本整備事業での順番待ちになります。 ⇒土木課としても把握しており、部分的に改良する計画はあります。
5	ファクトリーパークの環境整備(環境悪化、草刈)桜にカズラが巻き、市に問い合わせたが取り合ってくれず結局自分で伐採した。市としてきちんとした計画を。	県の公社のもので市も県に要望しているが計画もきちんとするよう伝えます。 ⇒業者に草刈などを委託し、計画的に整備をしています。また、市の職員も必要に応じて環境整備をしてきました。

<水道関係>

6	水道事業について水道一元化で水道管が地中に埋まっており目に見えず水質が心配。	水道部が水質を検査しています。今後は計画的に老朽化した水道管を修理していきたいと考えます。新水道ビジョンも作成中であり、水道利用減で収入も減り、料金値上げも今後検討して行くこともあります。
7	水道の民営化についてはどうか。	今まで検討してきたが、今後も検討を継続していきます。
8	水道事業について漏水した時には職員は対応しないのか。	市に連絡が入り職員が確認し、水道業者が対応する場合があります。

<鳥獣被害対策>

9	鳥獣被害対策推進特別委員会が設置されたがサル対策は、津和野などではオリで成果が出ている。	捕獲に2万円、サルのオリはありません。二条では成功事例もあります。
10	鳥獣被害対策について駆除花火270円について補助金が出ないか。	持ち帰り検討します。 ⇒現在は検討しておりません。（執行部回答）
11	鳥獣被害対策についてイノシシの処理はどうしているのか。	鳥獣被害対策分は焼却、埋めるなど捕獲した人が処分しています。

<議会運営・その他要望等>

12	市原で交通事故があった。信号設置の要望。	一緒になって考えていきます。
13	内田分校廃止でバスが通るのに虫追町の庄屋前道路改良を要望しているが返事がない。(市長へ伝えてほしい)	社会資本整備で順番になっています。市長にも伝えます。
14	スポーツ広場も活性化へ向けて議論してほしい。	議会として持ち帰り検討します。
15	河川の草刈について若手がいなくなったら市がしてくれるのか。	持ち帰り回答します。 ⇒基本的には河川の草刈を市が実施することは現時点では考えていませんが、このことは全市的な課題であると認識しています。

議会報告会意見集(平成29年10月11日)【鎌手】

<道の駅>

No.	意見等	回答
1	道の駅が計画されているが維持管理は何処がするのか。赤字経営となった場合、市は補助金を出すのか、またそれは続くのか。	・第3セクターも有りうるが現在はまだ確定していません。 ・梃入れする事はあると思います。 ・計画については行政・議会とも市民から色々な意見をふまえて検討中であり、議会としては市の計画を見定める必要がある段階です。

<道路関係>

2	国道が通学路となっている、危険な箇所も多くあり早期改良はできないか。	市としても理解はしています。国道は国交省であり国に要望はしていますが、市としては工事の状況については言えません。議会としても国や県に対し要望しています。4期の工事の内1期分が出来ましたが、大規模工事なので一気にはできません。今後も要望をしていきたいと思っています。
---	------------------------------------	--

<鳥獣被害対策>

3	鳥獣被害対策の報告書の研究結果で現状は把握できるが現状に対する分析が定かでない、どの様に思うか。	今回の調査研究で課題も見えてきたので、今後も継続しこうした課題を掘り下げ分析等行っていく必要があります。
4	これからの方針で一番に第一種特定鳥獣が出ている、地元では猪など身近な有害鳥獣を取り上げてほしいがどうした事か。	地域的には有害鳥獣が異なる場合があります。しかし市全体から見ると最近熊の出没も多く、早めの対策も必要であり、市全体を考慮した考えに基づいた記述です。
5	様々な取り組みを先進地に学んでいるがその他の地域も視察が必要ではないか、また先進地での効果的な取り組み例については市全体での横展開してほしい。	先進地に学ぶことで様々な課題や策も見えつつあり、これからどのように展開するかも委員会の中で協議の必要があります。
6	有害鳥獣捕獲に市長権限が有るのか、また市に捕獲の実働部隊はあるのか。	権限は市のものと県のものがあります。実働部隊もおらず、地域の猟友会などです。地域の住民の協力も必要です。
7	農家個人として有害鳥獣に対し、捕獲などは規制や資格保持等の制限が有り難しいので防御しかない、市長に権限があればハードルを低くしてほしい。	有害鳥獣防御の為、市としては電牧柵等に対し補助金を出しています。資格は必要で、地域として協力体制を構築する事も大事だと思います。

<議会運営・その他要望等>

8	全国に市は814自治体ある、その中で人口が5万人以下の市は250数か所に上る、全国のデータから言えば議員定数は17人となる、選挙ごとの改定は難しいであろうが人口減に対する議員定数をこのデータに近い形に見直してほしい。	意見は様々ある。議論の結果27年の選挙から定数が22人となりました。これからの人口推移を見ながら検討する時期や必要はあると思います。
---	--	--

9	<p>政務活動費は現在12万円である、使うかどうか分からない費用を一括先払いしている、事前に支払うのは行き過ぎではないか、必要に伴い使用した金額をその都度支払う方法はどうか。</p>	<p>年間12万円である政務活動費は、報酬と違い法律で定められた議員の活動に対し支払われる経費です。</p>
10	<p>水害があった。測量等は終わったがこれからの工程はどの様になっているか。特に小学校の校庭の復旧計画は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事は県が行い、3年計画で復旧の予定です。その間校庭は1/3くらいが工事用の道路で利用できません。</li> <li>・市関連の災害は9月議会で災害復旧補正の予算が可決しています。査定も済んでおり順次工事を行っていきます。</li> </ul>

議会報告会意見集(平成29年10月11日)【匹見下】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	地域自治組織について、地区振興センターは、地域の最前線である。地域マネージャーをつければそれでよいというものではない。政策だけが先行し過ぎているのではないか。議会が地区民の意見をもっと吸い上げて、執行部へのチェック機能を高めてほしい。	地域自治組織の拙速な推進は、地域を壊すことになりかねないという意見は議会でも出ています。今後についてはしっかりと注視していきます。
2	ガイドブックと実情が変わってきている。地域マネージャーは従来、正職員並みの待遇との話があった。本当にその条件でやってもらえるのか。500万円の内容についても不明な点が多い。本当に31年に間に合うのか。しっかりとしたガイドラインを提示してほしい。	500万円については、共済費等の雇用に必要な諸経費を含んでいます。
3	地域課題の解決のために、地域の人ボランティア頼りになっている。500万円が地域マネージャーの雇用経費というのではなく、地域の人が活動するための事業資金が欲しい。	意見としていただき、今後の議員活動に活かしていきます。
4	地域自治組織のガイドブックの完成版がほしい。	皆さんにいただいた意見を念頭に、今後の議論を進めていきます。 ⇒平成29年6月改訂版については地区にお配りしております。

<機構改革・支所の見直し>

5	総合支所の再編問題にしても、あまりに拙速に過ぎる。地域は不安になっている。議会はどうか考えているのか。	執行部としては財源を一本化して、より強みを活かした事業が出来るようにしたいと考えているようです。しかし住民サービスの低下を招いてはいけないと考えており、注視していきます。
6	支所の再編についてだが、支所の人数が減るのだろうか。	支所の人数が減るかどうか、現時点では、地域の方と協議を行っている状況であり、未定です。12月議会で議会に対して方針が示されると思います。 ⇒別紙で回答

<高齢者福祉>

7	地域包括ケアシステムについて、地域間で不公平感がある。保健師の派遣についても不安がある。できれば常勤としてほしい。	医療・介護予防事業は非常に大切です。今後の課題として、ご意見はしっかりと認識していきます。
---	---	---

<議会運営・その他要望等>

8	昨年の報告会で出た質問、意見に返答がない。	地区振興センターへ回答をしています。
---	-----------------------	--------------------



議会報告会意見集(平成29年10月12日)【都茂】

<機構改革・支所の見直し>

No.	意見等	回答
1	支所の機構改革について、議会ではどのように議論しているのか。	支所の機構改革は、より各地域の強みを活かす取り組みであると説明を受けています。しかし一方で、住民サービスの低下を招かないように注意しなければなりません。今後のスケジュールは、10月の地域協議会への説明の後、12月議会への議会説明および条例の制定、来年4月より体制移行となります。 ⇒別紙で回答
2	支所の機構改革について自治会長会議等を開いて、少なくとも自治会長には説明を行ってほしい。	執行部としては、機構改革は市長の専権事項であるとのことで、地域協議会への説明としたいと考えているようです。今後、市長と語り合う会等で話があると思います。

<国民健康保険>

3	国民健康保険について、市の予算はなくなるのか。	保険料の徴収等を含めて、事務的な予算は、今後も益田市の予算です。国保の特別会計も残ります。
4	保険料は上がるのか。	益田市の保険料は県内で高い方ではないということもありますが、医療水準等の状況にもよります。今後変更になることもあると思います。

<水道関係>

5	水道の統合に伴い、水道料金は変わるのか。	十分配慮して決定されるよう議論したいと思います。
---	----------------------	--------------------------

<鳥獣被害対策>

6	鳥獣被害対策について、特別委員会が再び設置されるということであるが、その経緯は。	鳥獣被害はイノシシ中心であったが、サルやシカ、ヌートリアの被害も拡大しています。実態把握が出来ていない状態でもあるので、調査を行い対策を練っていききたいと思います。
---	--	--

<議会運営・その他要望等>

7	防災公園が出来ると聞いたが説明を。	先の議会において説明があり、平成31年4月供用開始予定です。かまどベンチ等を備えた公園です。(資料説明)
8	河川の草刈りが行われないと、葎が増えてヌートリアの巣となる。高津川以外の河川の汚れも配慮してほしい。	益田川は県の管理河川であり、県の環境保全計画に従い管理されています。益田市でも予算を付けて対策を講じているところです。
9	国営開パイの負担金の未納について。	未納金は約2億円あります。分納等をお願いしているが、なかなか徴収が難しい状況です。欠損処理してはどうかという意見もありますが、不公平が発生してしまうということもあり、非常に難しい問題です。

議会報告会意見集(平成29年10月12日)【種】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	地域自治組織について、公民館の廃止、運営をすべて地域自治組織でとあったが、話は変わった。31年にセンター廃止というのは始めて聞いた。種村づくり推進協議会という種独自の組織があり公民館職員が大きく関わっており、全戸が関わっている。全員参加の組織である。地域自治組織は今年度立ち上げたいと思うが、31年に公民館の職員が減って、地域で手伝いをさせていただく方がいなくなるということは、これまでのように前には進めない。人口拡大課は31年ありきは当然というような言い方をされた。それは困るというと、市からいうことがうまく伝わっていませんねというような言い方をされる。今立ち上げる気が薄れている。これまでの種村づくり推進協議会でいいのではないかとも思うが、いかがか。	地域で一生懸命やっておられる意見を伺いました。今までやってきたことが31年からもできるかなど、他からも聞いています。地域によって実情が違うのでよく話し合うよう市長に申しあげたいと思います。
2	地域自治組織について、方針説明を地域に具体的に行う予定があるか。	あるというように聞いています。

<農業>

3	国において個別所得保障がなくなる。減反政策もなくなる。今年の場合は農協が何とかしてくれるが、来年はない。しかしこれからは作りにくいところはいらぬ。そのような農地を手放すことになる。農地は要らないという法人が出る。無理して作ることはないということが加速してくる。農業委員会に推進委員会を設け、農地を集約せよという。これを止めてほしい。所得保障に代わるものがほしい。条件の悪いところを良くするような条件に変えるなどしないと、若い者が来るような気がしない。	農業委員会は、法改正によって農業委員を16名、推進委員を24名、合計40名となっています。国に対して意見を言っていきます。農業の問題で十分な回答ができませんでしたが、市議会の中に農業問題を考える会があり、今回食と農の基本条例を作ろうとしており、今皆さんからいろんなご意見をいただこうとしております。食と農の市民条例のことは、パブリックコメントを行っているので、ご意見をお寄せいただきたい。市も農業を市の基幹産業として育てたいという気持ちはあります。お話のように所得保障など農業者支援がなくなったということなど、大きなデメリットであることは判っていますが、当地の実態と国の政策との間で意見の食い違いもありうまくいっていない状況です。ご意見をいただければ幸いです。
---	---	--

<広報広聴>

4	議会報告会について聞きたい。議会報告会にずっと来させていたでいる。益田の中でどれくらいの人に来てどんな意見が出ているのか、公民館で聞かせていただいたが、あっと驚くような状況。人が来ないなどでは、何か考える時期ではないか。意見を伝える場があるのに残念に思う。	広報広聴委員会の中でも議会報告会の議論をしており、まずは会へ来ていただくことが大切だと考えます。模擬議会を行い、中学生は市議会は何をやるどころかわかっていないと感じました。有権者になっても困ると思います。ご意見をいただいて協議します。
---	--	---

<議会運営・その他要望等>

5	<p>人口拡大、観光客の誘致など言われるが、高校生などがみな出て行く。これで人口拡大、地域自治組織などできるわけがない。子どもに家を継いでもらいたい、神楽も引き継ぎたい。今のような状況を打開しなければ市の成長はないがどうか。地元企業に子どもたちが入れるように、格差をなくす、職種を増やすなど人口流出に歯止めをかけるなど、優先してほしい。</p>	<p>議会でもキャリア教育でひとつくりを進めています。高校生の地元企業の情報を入れたビデオを作成しました。職場体験の取り組みなどを行っていますが、成果は出ていません。</p>
6	<p>全国各地で災害が発生している。7月5日に種地区にも避難指示が出された。どのような対応があるのか議会、議員の意見を伺いたい。現地の様子を見に来るとか、議員があまり来られていない。</p>	<p>すべてに行っているとは言えないかもしれません。鎌手から種にかけて見させていただき一般質問でも災害に対する質問を行いました。災害の対応をしっかりするよう言っています。 種地区には避難場所が少ないので集中豪雨など集落ごとに考える自主防災組織など、早急に設けて話し合う機会を作ってほしいと思います。</p>
7	<p>川があふれそうで、もう1時間も続くと決壊の恐れがあった。58年災害の時にはここは浸かっている。被災するというので市に問い合わせたが対応が返ってこなかった。現場を見に行っていないから判らない。そこは避難所なんだろうという答えが返ってくる。早急に指示を出してもらわないと困る。下はお寺、上はないので公民館となっているが、危険。防災体制の見直しを早急に願いたい。</p>	<p>消防団の皆さんの対応はありがたい。細かい見直しを言っていきます。 ⇒11月20日危機管理課職員、消防団、センター長と防災体制について検証を行いました。</p>

議会報告会意見集(平成29年10月16日)【北仙道】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	8月に公民館、地区振興センター、保健福祉センターの見直しについて説明があった。市が地域に丸投げをしているという感が強かった。設立に悩んでいる地域もある中で平成31年からの廃止は、地域格差が生じるのではないかとと思うがどうか。	議会から意見を出しているが執行部は迷走しているように思えるところもあります。全国的な動きであり地域自治組織は必要と思います。

<国民健康保険>

2	国民健康保険の広域化について対象者の立場で考え周知することが重要ではないか。	国保財源が乏しいため広域化は必要です。制度自体の変化は無く運営主体が変わるだけであり、保険税の大きな変化はないと考えます。保険税の収納率は県下でも上位であり、値上げについては議会でも意見しています。
3	介護保険も改正されたら利用料は一律かもしれないがサービスの内容に差が出るのではないか。	介護保険については変更はありません。

<道路関係>

4	山陰道の完成時期はいつになるのか。	現時点で完成時期は示されていないが、早期の完成を目指します。
---	-------------------	--------------------------------

<鳥獣被害対策>

5	鳥獣被害対策特別委員会の設置の主旨と鳥獣害対策の予算の拡充はどうか。	鳥獣被害の減少がまだ必要と考えることから設置しました。先進地(二条地区)の事例について説明。
---	------------------------------------	--

<萩・石見空港対策>

6	萩・石見空港対策特別委員会が設置されているが、萩・石見空港の搭乗助成などの評価は低い。設置の主旨はどこにあるのか。	特別委員会は議長の意思を議員が認め設立するものです。今年度は県が本腰で注力しており、効果が上がると考えています。
---	---	--

<議会運営・その他要望等>

7	災害動員で公民館職員が対象外になると聞いた。本庁から来てきめ細かな対応ができるのか。実際今年の豪雨の時に避難指示に地域で時間差が生じた事実がある。	地域を知らない者が避難誘導をする事には問題があると考えます。
---	---	--------------------------------

8	二元代表制の元、市長と議長は市の顔である。市長は4年だがなぜ議長、副議長は2年で交代するのか。	県議会の議長も2年になり、任期が丁度よいのではないかと思います。
9	地域の意見をしっかり聞き物事を決定してもらいたい。	意見のため回答はありません。
10	今になっても58災の工事が行われている場所があるがどういう事なのか。	当時の災害査定で漏れたものがのちの災害で認定されたのではないかと考えます。場所がわかれば予算を調べることができます。

議会報告会意見集(平成29年10月16日)【美濃】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	小学校の統合・閉校に伴い覚書を交わし、拠点整備することとしている。地域自治組織を立ち上げ、高齢者の外出支援やふれあいサロン等を運営するなど様々取り組んでいる。議会の支援を要望する。	承知しました。要望・意見は執行部に届けます。

<学校・教育関係>

2	小学校統合後の地域に関する学習が、中心部（中西地区）中心になりがちとなることを懸念する。周辺部でも実施されたい。	議会に対する教育長答弁においても、そうしたことを配慮する発言があります。議会としても意見反映していきます。
3	学校校舎及び周辺環境の安全確認・点検を行い、整備されたい。	委員会でも学校を視察し理解している。教委にも指摘していきます。

<街路灯設置事業>

4	防犯灯のLED化について、補助金終了となりアンケートもあったが、補助なしで交換したところもある、値段にもかなり幅があり、今後検討が必要ではないか。	この件は、議会に対して報告がありませんでした。今後、補正対応できるのか、次年度からとなるのか、議会もしっかり意見を言います。
---	---	--

<萩・石見空港対策>

5	飛行機の利用促進の補助金はいくらか。	正確な数字を持ち合わせていないが1億円余りです。
---	--------------------	--------------------------

<水道関係>

6	水道について、老朽化、災害での断水の不安がある。	予算的にはかなり厳しいが、計画的に更新される予定です。
---	--------------------------	-----------------------------

<議会運営・その他要望等>

7	オリンピックのキャンプ誘致は何ヵ国か。損をしてまで誘致することはなかろうが、その効果はどうか。	誘致は1ヵ国。明確な数字は示されていないが、交流人口の拡大と賑わいの創出が期待されます。これまでのイベント実績もあり、誘致により更なる交流拡大が見込まれます。 ⇒第87回全日本自転車競技選手権大会が平成30年6月22日～24日に益田市で開催されることが決定しました。
8	地域間格差のないように、各地区の均衡ある発展のためにも周辺部を大切に する行政を望む。	要望は承知しました。

議会報告会意見集(平成29年10月17日)【益田】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	地域自治組織について、具体的なものができていない。8月に新しいものが出たが、宙ぶらりん。地区振興センターの廃止に触れている。条例の位置づけはない。予算付けも地域マネージャー500万も気がかり。地区で経営についてはマンパワーが必要。6000名の住民がいるので、高齢化の問題は避けて通れない。	・地区によって取り組む課題が違うためそれぞれに説明していきたいと思いません。 ・地区振興センターの廃止、公民館の委託は、無理な話だと考えます。地区振興センターは担う部分を整理して地域自治組織に担っていただくようです。地区の意見を参考にさせていただきます。

<道の駅>

2	道の駅整備、歴史関係などなど、設計をコンサルタントに出しているが、地域に人材を育成する観点から、市内業者を優先しては。費用対効果として大切。	実績を持った業者、市内になれば県内の業者となっていきますが、技術士の数も少なく、建設に関わって要望していきたいと思えます。
---	--	---

<街路灯設置事業>

3	街路灯のLED化、30箇所を3カ年で変える予定。届出をしたが、9月から中止になった。予算がないという説明だが、予定を変更されても事業は進めてきているが、どうなのか。	街路灯は、市内全域で予算不足の状況となっており、執行部に意見を伝えます。
---	--	--------------------------------------

<環境衛生>

4	廃棄物減量化の看板が月日が経過して読めなくなっている。変えてほしい。	看板は割れているので、意見として伝えます。 ⇒環境衛生課に申し出ただけであれば必要に応じて対応いたします。修繕は難しいですが、新しい看板をお渡しできる場合もあります。
5	指定袋について。埋め立てごみのものは破れやすく、危険なものが入るので、厚いものにしてほしい。	危険物については、割れ物と書いて、怪我をしないように出してください。(後日、この対応が誤りであったので発言者に修正を伝えた。)埋め立てごみの袋を厚くしてほしいというご意見は執行部に伝えます。

<議会運営・その他要望等>

6	市議会について、議員の指名で番号は不要ではないか。	議員の呼称については、番号によって議席の指定をしており、また、議事録の関係もあり使っています。
7	市議会が年4回開催となっているが、通年議会としては。	通年議会について、臨時議会が開かれる制度となっており、実質的にはあまり変わらない。議会活性化委員会で通年、夜間議会など議論しましたが、職員人件費など増える要素もあり、改めて協議します。閉会中審査、議会報告会なども行っています。

8	益田川の清流化	公共下水道を整備するとしていたが、実施ができなく、高津川と益田川の中間地は整備をすることとなって、雨水と生活排水は分離されて出ます。
9	人口拡大課は市長の意を表したもののだが、どう考えてもやめてはどうか。	人口拡大に関してはそのような意見が出たことを伝えます。
10	議員提案、議員同士で協議して出してほしい。	議決権を持って政策立案能力があるかも課題があり一層努力します。地域医療推進条例や食と農の市民条例など作ろうとしていますが、市議会には法制担当がおらず技術的な課題もあります。
11	地籍調査について通知が届いた。現地の立会いなどがあるがよくわからない。古い人のことでわからない。	市が使用している図面は古いもので、復元して読み取れるようにするのが今の事業です。個人ですれば大変な費用が掛かるもので、これを機会に事業や様々な計画実施に欠かせないので、通知にあるように立ち合いなどお願いしたいと思います。



議会報告会意見集(平成29年10月17日)【二川】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	地域自治組織の未来像について。(出席議員の考え方を問う)	①小さな拠点を整備して全体をまとめる方向にあります。 ②地域の自主的活動のまとめりであります。 ③活動が継続できるようなサポート体制の構築が必要です。 ④方向性について最初の原点に戻って議論すべきだと思います。
2	H20年に4つの自治会を1つにして、未来を考える組織とした。その後地域自治組織の取組が始まった。二川地区は既に実施に向けての計画は出来ていたが、ステップ4で止まっている。進められる組織から実行に向けて活動できる体制を整えてほしい。進めて行くと行政が変わり途中で変更と、梯子を外された気持ちになる。それで一番前に進む勇気が出ない。	金銭的な担保は長期的には問題の出る可能性はあります。二川地区の進め方について市との合意ができれば、サポートします。
3	益田市の将来像について 市長が2期目となったが、市長、職員から益田市の将来に向けての本気度が見えてこない。例えば地域自治組織の活動を通じて地域の活性化を進めようとしているが、交付金が決まらないとして、とん挫している。	提案はしているが、受け取る側は執行部にあります。 市民の意見は、議会で上げていきます。

<機構改革・支所の見直し>

4	益田市の将来像について 総合支所のあり方については、言い切ってもらえれば本気度も見えるがはっきりしない。頼りない。	提案はしているが、受け取る側は執行部にあります。 市民の意見は、議会で上げていきます。 ⇒別紙で回答
---	--	--

<学校・教育関係>

5	学校跡地利用について 学校統合時の約束であった。早くして頂きたい。	国の交付金事業の申請をしましたが、実施に至らなかった経過があります。30年の当初予算に向けて、地元からの活用方法の提案をお願いします。
---	--------------------------------------	---

<空き家対策>

6	<p>学校が閉校になったが、教員住宅は空き家としてある。 救急患者が治療して帰った時、一泊程度 宿泊させて頂く等の活用はできないか。</p>	<p>持ち帰り回答します。 ⇒1泊程度の対応となると、一時利用の住宅ということになりますが、現行の教員住宅としてその取扱いは出来ないが、今後、一般住宅へ移行する際にご意見も踏まえた対応を検討して行くことは必要であると考えます。 しかしながら、二川地区には「湯の香住宅」という市営住宅があり、この入居状況も踏まえる必要があります。この市営住宅に空きがある中で、現教員住宅を市営住宅等に変更してまで活用する必要があるか検討の余地があります。 いずれにしても、学校も統合により地域から無くなっている状況で、教員住宅としての必要性は無くなっており、市営住宅へと変更するか解体するか等のあらゆる状況を踏まえて方向性を検討しているところです。</p>
---	--	---

<高齢者福祉>

7	<p>救急車の運行についても、包括ケアシステムの活用も大事である。</p>	<p>意見のため回答はありません。</p>
---	---------------------------------------	-----------------------

<国民健康保険>

8	<p>国保広域化に伴う保険料について 県内の保険料は格差があり、広域化されることにより益田市の保険料は高くなるのか。 軽減分の扱いはどうなるのか。</p>	<p>県から11月に保険料率が示されます。将来的には県内統一保険料率となり上がることが懸念されています。市長は統一保険料については、反対の意見を述べており、軽減措置は市町村ごとにあります。今後の調整が必要です。</p>
---	---	---

<農業>

9	<p>農業政策について 後継者育成について</p>	<p>就農フェア等を実施して取り組んでいます。 農業の法人化も含め、益田市としても考える必要があり、議会からも提案していきます。12月にますだ食と農の市民条例の提出を予定しています。益田市からのバックアップを期待しています。誘客にはPRが必要であり、益田市の課題です。</p>
10	<p>いのししの牧柵の申請について。</p>	<p>県の事業の防護柵については9月に県に発注済みで、10月には業者が決まり現場で設置しました。 県の補助事業以外の申請については3件補助済みです。</p>

<議会運営・その他要望等>

11	<p>二川地区のまちづくり計画について                  二川地区のまちづくり計画に小学校の跡地の有効利用、美都温泉を活用した賑わいの創出があるが、連携はあるのか。                  →学校跡地には宿泊施設は作らず温泉の利用、また食事の利用も地元の利用を考えている。現在、ぬくもりの里のメンバーには温泉施設の管理者も入って、活動を行っている。県外の人も含め、最近では30名程度が参加され参加者による意見交換もされている。</p>	<p>地域の実情に合った利用を考える必要があるので議会として検討します。</p>
12	<p>救急車の運行について                  救急車の設備が整うと同時に、車体が大きくなり重量も増してきた。これにより地域に入れられない場所も出てきている。議会で話をされているか。</p>	<p>議会として検討します。                  道路整備は予算的なものがあり、優先順位を付けての整備となります。</p>
13	<p>二川公民館への議員の立ち寄りについて                  4年間議員は誰も立ち寄って頂けない。益田市の議員なので、どなたでも歓迎する。</p>	<p>顔を出すようにします。</p>
14	<p>双川峡工事の県要望について。</p>	<p>3か年で1億5000万円の要望しており、決定が来年2月頃となります。要望の強化をします。</p>
15	<p>県営住宅が10戸あるが、入居は2世帯のみで、8戸は空き家になっている。地区の実情にあった利用ができるような条例の変更ができないか。付加価値を付けるくらいの考え方が必要と考える。「みなし特定公共賃貸住宅」という制度があると聞いているがどのようなものか。</p>	<p>益田市営湯の香住宅は、平成10年度に建設されましたが、予測以上の転出等により、空き室が生じてきました。一方で中堅所得階層の入居要望も高まっている状況にあったため、空き室対策及び中堅所得階層の受け皿として、平成28年8月、湯の香住宅にみなし特定公共賃貸住宅制度に基づく部屋を3室設け、その内2室に入居があります。（平成29年11月28日現在）                  みなし特定公共賃貸住宅制度とは、その住宅の区域内に中堅所得者用の賃貸住宅が不足すると認められるときであって、公営住宅の適正かつ合理的な管理に著しい支障のない範囲内で、国土交通大臣の承認を受けて、公営住宅に中堅所得者を入居させることができる制度です。                  ※公営住宅に入居できる者の収入基準                  ・・・・月額158,000円以下（低額所得者）                  みなし特定公共賃貸住宅に入居できる者の収入基準                  ・・・・月額158,000円以上（中堅所得者）</p>

議会報告会意見集(平成29年10月18日)【小野】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	地域自治組織がどういう趣旨で設立されることとなったのかについて、議会はどのように捉えているか。	地域自治組織は、住民自治を基本としています。予算面では、従来地区振興センターに用途を指定して配分され、各自治会に下ろしていたものを、これからは用途を含めて地域自治組織で決められる予算を直接地域自治組織に配分できるようになるとのことです。
2	地区振興センター廃止方針に伴い、地域は不安と不信を抱えているが、議会はどうか捉えているか。	議会としての取りまとめはできていません。今後、執行部から地区振興センター廃止の条例提出があった場合は議会として判断することになります。※議員の個別の思いとなるので、意見として受け取ります。
3	地区振興センター廃止について、地域への説明がなされておらず、市の独断専行となっている。	公民館長会議での説明となっていたようです。職員が説明に地域へ出かけるように委員会でもしっかり行っていきます。
4	なんでもかんでも今後は地域自治組織で、という話が多い。非常に不安である。	意見のため回答はありません。
5	地域自治組織の法的立場について。どこまで責任を負わされることになるのか。指定管理者についての講習を受けるように言われたが、指定管理者制度においては、その責任分担が明確であるが、地域自治組織においてはそれが無い。混同されているような気がする。	意見のため回答はありません。

<道の駅>

6	道の駅について、本当に大丈夫なのか。	パブリックコメントのなかでも厳しい意見が多くありました。これから基本計画の策定に入ることと思いますが、絶対に失敗できない事業という認識を持って議論を進めていきたいと思っています。
---	--------------------	---

<街路灯設置事業>

7	防犯灯の補助金について。6月には予算がなくなったので次年度対応と言われ、今後が不安である。	来年度からを検討するために、各地区振興センターにアンケートを取っています。市民の安全安心のためにも、十分議論していきます。
---	---	---

<医療>

8	<p>小野地区の医師派遣について。飯浦以外に診療機関が無い。地域でも方策を検討している。地域包括ケアシステムについての説明で日常生活圏域を5地域としているが、これは問題である。これまで地域づくりは20の地区振興センター単位であった。今後は、全てにおいてこの5地区での対応となるのか、地域エリアについて議会の考え方はどうか。</p>	<p>執行部としては、効率的な区割りを考えているのだと思います。また、県の推進している小さな拠点づくりの流れに基づいた5圏域であると考えます。効率化についてはしっかりと受け止めて意見していきます。</p>
---	---	--

<高齢者福祉>

9	<p>介護1、2について、市としてどのように対策していくのか。</p>	<p>31年からの総合事業の課題であると考えています。第7期の高齢者福祉計画を議会としてチェックしていきます。また介護予防ということでプランを練っていくということになっています。</p>
---	-------------------------------------	---

<議会運営・その他要望等>

10	<p>日常生活圏域の問題は、学校再編等の様々な問題に関わってくる。これは市民生活の安全安心に影響を及ぼしかねない問題である。</p>	<p>意見のため回答はありません。</p>
11	<p>議長不信任決議がなされたが、どうしてこんなことになったのか。</p>	<p>議員それぞれの意見となるので、経緯のみ説明。</p>

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	<p>地域自治組織について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(地区振興センターの思いが書かれたプリントを配布)</li> <li>・平成31年度からセンターの職員を減らす(館長1名、主事1名の2名体制) ことになっている。</li> <li>・他のセンターは4名体制であるが、西益田は6名体制である(別地域の豊田と高城が一つになっている特殊性)。</li> <li>・一律になってしまうと世話をする人がなく、地域が停滞してしまう。</li> </ul> <p>地域の魅力をアップするのではなくダウンさせてしまう恐れがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の事務だけでなく、行政の業務を受けている状況で、将来的には自治組織で担っていける体制ができるとよいが、今西益田にそれを投げられても無理。</li> <li>・時間をかけて協議を重ね体制を整えていく必要がある。</li> </ul> <p>このスケジュールでは無理がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区で地域自治組織の取り組みは異なります。</li> <li>・面積も広く、人口も多い地域で、2地区が一緒になった特殊性も伺いました。各地区に見合った報告を議会として行い、地域自治組織の取組等について議会として執行部に物申ししていきます。</li> <li>・主に8月に出た組織運営の内容に不安を持っておられるということを確認したので、議会としても意見を聞き執行部に話していきます。</li> <li>・この場でこうするという事は言えませんが。意見を伺ったということでご了承いただきたいと思います。</li> </ul>

<生活福祉>

2	<p>福祉ゾーンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉ゾーン」と我々が言っているだけで、行政はまちづくりに対して福祉のゾーンとしてどういう位置づけとなっているのかということが何も無い。市はただ養護学校などの建物があるから「福祉」と呼んでいるだけ。地域住民は福祉ゾーンの文化事業にこぞって参加している。医療・福祉と地域住民の関わりということをおのゾーンに対してどのように考えているのか。</li> </ul>	<p>他の地域に比べて明らかに集約して、福祉中心であるということが明確化しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の皆さんからすればもっと充実させるべきという考えも分かりますが、他の地域からするとなぜあそこばかりあるのかと不満が出ます。また同じ地域内でも離れた場所にあり不便を感じている方もおり、わざわざ同じ場所に寄せる意味があるのかという話も聞きます。</li> <li>・西益田地区は福祉にやさしいまちづくりをしていることが評価されて福祉ゾーンとなりましたが、多目的交流センターとの関連性は、総務、福祉という縦割りのところもあるので難しい面もあります。</li> </ul>
---	--	---

<広報広聴>

<p>3</p>	<p>市長と語り合う会          ・市長と語り合う会に参加しているが、回答の100%近くが「NO」である。          ・浜田と益田を比べて、あらゆる面で行政サービスが遅れている。財政的に厳しいのでできないと切られるケースが益田は多い。</p>	<p>浜田市との関係も具体的に出されました。議会として政策立案能力を高め、また議決権を行使することによって政策を実現するという立場もあるので、ご意見を聞きながら進めていきたいと思えます。          ・一方で行政改革を進めながら健全な行政執行を図るという面も持たなくてはなりません。          ・住民サービスについて意見を聞きながら執行部に言っていきます。          ・お金がない、予算がないという点では、交付税の算定替えにより大幅に交付税が少なくなります。          ・平成30、31年度まで公債費の償還額がピークに達します。          ・必要なものは必要なものとして、住民サービスはしていかないといけないと考えています。          ・合併特例債という有利な起債もあと2、3年で終わります。これは今後の課題だと認識しています。</p>
<p>4</p>	<p>議会報告会について          ・他地区の市長と語り合う会や議会報告会に参加している。市長の答弁は「予算がない」「検討中」。市長の具体的な考えは議会報告会や議場で議員の発言を聞いたり執行部の答弁を聞くことで知ることができる。          ・議会報告会や市長と語り合う会の参加者が少ない。自治会長は出席するが、一般の方は呼びかけをしてもなかなか参加されない。そこには何か問題点があるのではないか。</p>	<p>・議会と行政の二元代表制を知ってもらうことが大切と考えています。          ・議員の仕事とは何か、市長の仕事との違いは何なのか知ってもらう機会と考えています。          ・参加者が少ない地区もあり、日程・時間調整を地区振興センターと一緒に考えています。          ・毎年少しずつ見直しをして、地区の皆さんからより多くの声を聞く場にしていきます。          ・関心を持ってもらえるよう引き続き見直しを行っていきたいと思えます。</p>

<議会運営・その他要望等>

<p>5</p>	<p>西益田多目的交流センター（仮称）について          ・多目的交流センター建設の請願については議会において全員賛成で可決。          ・8月の市長と語り合う会でも市長に建設のお願いをしたが、現段階ではその考えはないとの回答があった。9月22日に49団体で期成同盟会を発足し、建設促進を考えている。</p>	<p>・市長、執行部と意見交換しながら協議しています。小さな拠点の助成が使えないか、様々な助成制度で該当するものはないか検討してきました。          ・可能性を模索し、2つの地区を一つにしてやっていこうという前向きな声もあるということを知り、議会も全会一致で請願を採択しました。          ・大型の予算に対して補助が取れるようなものがないのが現状です。          ・市の単費で事業を実施するのは難しいと考えます。          ・地元で交流センターを作ろうという機運を高めていただくことが大事だと考えます。</p>
----------	--	---

6	<p>公民館敷地内に設置されている同和教育の看板について ・公民館敷地内に教育委員会の人権教育の看板があるが、「見ないふりして目 その目が差別の目」と書かれていた文字が経年劣化して見えなくなっている。鎌手公民館、二条公民館にも同様の看板がある。人権センターにお願いしたところ、自分たちで補修してくれないかとのことだった。しかし高所作業になり危険だ。管理は教育委員会なので何とかしてほしい。善処するという言葉はもらっているが、お願いして3年になる。何とか修繕してほしい。</p>	<p>お金がないからできないのか、順次やってきているがまだ辿り着いていないだけなのか、人権センターに確認して回答します。 ⇒現状については、確認し認識しています。改善に向け劣化の激しいところから、順次対応すべく予算的な検討をしているところです。</p>
---	--	--



議会報告会意見集(平成29年10月20日)【高津】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	地域自治組織について 地域魅力化事業について3年前と違っている。地区振興センターをなくすとなっている。公民館を中心とするコミュニティーを発展させようとしているのだろうが、条例化していない。議員の皆さんも意見をのべているとなっている。市長も条例化の計画はないといっている。地域で説明しても理解してもらえない。議会が承認して出しているのか。執行部が出しているのか。	公民館を変えていくことについて、中山間9地区は決まってきたが、残る11地区は地域に温度差があり、議会として質疑をしているが年々変わってきており理解が得られていません。地区の魅力化を勧めるのが基本で条例化はありません。
2	地域自治組織について、ハンドブックを熟読してもわからない。人口減、高齢化で財務状況が厳しくなるとして、まずは合併をしてスリム化すべき。地域自治組織で何を肩代わりさせたいのか判らない。 将来の財政計画、地域自治組織は具体的に何を求めているのか。財政支援も明らかに。	たくさん厳しい意見をいただいたので、質問というよりご意見とさせていただきます。 財政状況について、厳しい認識はあります。公共施設の適正化計画、児童館の廃止計画、合併問題等市民の皆さんでやっていただくことは地域自治組織でお願いしたいという中で、広い市域の中で公民館を残すよう言ってきました。吉田、益田、高津のように広い地域で地域自治組織が担うのは難しいと考えます。個別にしっかりと話してほしいと思います。

<学校・教育関係>

3	児童館の廃止について、意見を述べたい。財政的に厳しく児童館を廃止したいとあったが、聞いているのはあり方検討委員会の中で廃止という意見が出たとのこと。高齢化で子どもが少なくなった。子どもの人数が少ないだけで効率化を言うのもどうか。運営委員会を開いて意見を聞いていただいた。残していただくために、子育て支援や母親支援など意見を上げたが、廃止であり今年度は児童館の使い方を検討することとなった。どうするかは決まっていない。	廃止の方針が出て以降、方向が決まっていなので、十分伝えていきます。
---	--	-----------------------------------

<高齢者福祉>

4	高齢者のケアマネージャーについてたくさんおられるが、市の中に1人看護師とマネージャーの資格を持った方がおられる。多くの民間のマネージャーが介護の認定をしていらっしゃる。最終認定は医者だが、地域バランスが取れない。介護の費用が上がったので、厳しい認定をされているが今年の中ごろから認定者が減っている。議員は、市のマネージャーを中心に全体のバランスが取れるよう、図ってほしい。	介護認定は医者などが認定を行っているが、費用が上がったからといって認定を減らすなど考えにくい。退院する人も行先が厳しくなっていることからケアマネージャーの対応が厳しくなっているとも考えられるので確認したいと思います。 ⇒認定調査は全国一律の方法によって、公平公正で客観的かつ正確に行われており、対応が厳しくなっていることはありません。
---	--	--

<萩・石見空港対策>

5	石見空港が平成5年にできた。約束事項としてゲートボール場を作ったが何の役にも立っていない。	意見のため回答はありません。
---	---	----------------

<道路関係>

6	山陰道の西部方面について、平成4年頃、はじめは県から橋を作りたいので協力してくれという話だったが、時が経つにつれ陳情してくれないと進まないと言われた。議員提案や、期限を切って実行するようお願いしたい。元町人麿線について、県から協力を求めてきたが、今では陳情書を出さないとになっていて、反対になっている。	要望として受け取ります。
7	市道について、白線とカラー舗装を進めてほしい。高角橋の上下と小学校近辺の整備をしてほしい。小学校のところでは、道路側のほうを広くしてカラー舗装してほしい。事故が起こってからでは遅い。順番待ち、予算がないでは困る。議員はしっかり把握して対応してほしい。子どもたちに魅力のある益田市に。	近辺は通りにくいと認識しています。年に800件ほどの要請があるが、速めにするよう働きかけます。学校と一緒に伝えて伝えることがよいのでは。

<議会運営・その他要望>

8	税収が少なく公共サービスができにくい中で、地域に肩代わりを求めている。市長他削減されているが、職員は100%出している。議会は予算を承認しているが、人件費が高い。退職金も同様。手が付けられるのは議員だけ。人件費率を下げしてほしい。	定数を22にしました。市長も県で一番低い状況にあり、議会からも引き上げの意見を出しています。職員についても県内の横並びなどの状況もあり、議会側として勉強させていただきます。
9	行政はスリム化しなさい。議員も半分。職員も半分。それでできる範囲の仕事。行政のことは何も触れていない。1人家庭も増えている。地域で考えることは必要。私たちも厳しい状況に置かれている。	地域の事情を伝えていきます。

議会報告会意見集(平成29年10月20日)【真砂】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	<p>・地域魅力化事業について</p> <p>①地域活性化に向けて「ときめきの里真砂」として、早くに組織を立ち上げ2年が経過した。ここに来て、市はなぜ体制を変えるのか。公民館と地区振興センターの2本立てで運営しているが、今後は地域マネジャーの雇用も言われているが、人材もなくステップ4までが精一杯である。又、中山間も市街地も一律500万円では矛盾を感じる。</p> <p>全域で自治組織も出来ていないのに、市の方針がコロコロ変わったのではたまらない。疑問を感じ深い違和感を持つ。</p> <p>②今設立している組織は、行政の業務をうける組織ではない。地域を元気にしようと一生懸命取り組んでいる。最初からのボタンのかけ間違いがある。先般市と意見交換をしたが、31年4月の移行は無理である。益田市を脱退しなければならない。</p>	<p>方針が度々変わり住民の方も大変だと思います。市長がはっきり方針を出す必要があります。例えば、国家戦略を捉えての特区もあるのではないかと思います。</p>
2	<p>③中山間地は時間をかければ地域自治組織はできると思うが、吉田・高津・益田の市街地では一つの地域自治組織としてやっていく方針か。ブロックに分けないと無理ではないか。</p> <p>④組織を作る為ではなく、地域のまとまりを求めたのが今の組織である。住民に自主性が出てきた。</p>	<p>中山間地と吉田・益田・高津の役割を見直す必要があります。市長が方向性を示すべきです。</p>

<地域間交流・中山間地対策>

3	<p>交通弱者対策(コミュニティーバス)について</p> <p>現在、市が委託している石見交通が1日4便運行している。生活バスや乗合タクシーは運行していない。現在は地元社会福祉法人のバスを活用して買い物バスを運行している。</p> <p>路線バス利用者が減少しており、石見交通の運航は本来廃止代替路線として市が運行を委託しているものであるため検討が必要となっている。</p>	<p>地元の人との協議を進めながら検討します。</p>
---	---	-----------------------------

<高齢者福祉>

4	<p>介護保険制度について                  ①29年4月より制度が変わり、総合支援となった。要支援1・2は介護保険から各市町村の対応となった。市の説明では今までと同じようなサービスの提供と言われていたが、ある介護施設では要支援の受入を拒否している所もある。原因は要支援1・2のケアプランを立てるのは包括支援センターのケアマネ、要介護は民間のケアマネであるため溝があると思える。行政指導が必要ではないか。</p>	<p>受入れ拒否の介護施設の実態は調査します。(その後の委員会で議題にすることとした)                  ⇒総合事業を始める前から通所介護(デイ)、訪問介護(ヘルパー)のサービスを提供していただいた事業所は全て総合事業で受け入れができる事業所として移行しています。                  ただし、通所介護では、対象の方が介護認定のある方のため、総合事業の事業所として指定を受けていない事業所はあります。また、各事業所とも定数があるために、場合によっては利用を待っていただくこともあります。</p>
5	<p>②支援1・2を受入れている介護施設は報酬を元に予算を組むが、益田市では平成30年度の報酬額が決まっていないということで、次年度の予算が組めない。1年ぐらい前には、せめて報酬が下がるか、上がるかは連絡いただきたい。</p>	<p>持ち帰り回答します。                  ⇒介護報酬については毎年1月から2月頃に国において確定されるので、それを受けて県指定事業所については3月23日に集団指導が実施されます。市指定については、それを受けて集団指導を実施し、その場で介護報酬を含め説明します。</p>
6	<p>③自立生活を目的とした支援とあるが、支援の方向がおかしい。元気な高齢者への支援が足りないのではないか。</p>	<p>意見のため回答はありません。</p>
7	<p>④地域の介護予防には行政が支援することになっているが、行政は何もしてくれない。</p>	<p>意見のため回答はありません。</p>

<道路関係>

8	<p>県道市道未整備区画について                  ①市道久々茂～柿原線の改良については、平成22年度から大屋形で工事を実施している。この区間は大きな山切箇所があり、大きな予算を必要としている。                  ②県道も市道も整備の要望の陳情に行った。面談者が言われるのは「予算がない」。これでは地域は何もできない。地域が崩壊したら行政は大変である。予算がないことは地域の責任ではない。道路を整備しないと、地域の人が出て行ってしまふ。なんで真砂に住んでいるのかと思うこともある。たとえ予算がなくても、言い方はある。                  ③県道 笹倉～澄川線の整備について</p>	<p>平成34年度の完成を目指して進めています。</p>
---	---	------------------------------

<議会運営・その他要望>

9	<p>小学校の体育館跡地の利用について          駐車場となっている場所を地権者に返して、宅地として活用したい。          学校の施設がなくならないと地権者に返さないとの返事があった。真砂へ人を呼び込むには安い宅地は魅力的である。</p>	<p>持ち帰り回答します。          ⇒ご提案をいただき、ありがとうございます。          市としても地区住民の皆様方が率先して地域振興策をご検討いただき、また、住民誘致を行われようとしておられることに対し、大変ありがたく思っています。          真砂小学校の敷地につきましては、ご意見にもありますとおり、市の所有地と民有地の借地部分があります。          体育館跡地の民有地部分について、地権者様のご要望に応じ返還することは可能とも考えるところですが、現地は市の所有地と民有地が混在していることから、民有地部分を住宅用土地として一体的に利用するには若干狭小な土地ではないかとも考えられるところです。          また、小学校の校舎については、現在真砂中学校の敷地内に改築するよう検討しており、小学校の改築や跡地について、地区の皆様方にはご心配をお掛けしているところですが、小学校の移転が完了するまではこの形態で利用させていただきたいと考えております。</p>
10	<p>市営住宅について          ①市営住宅を利用するのに、益田並みの家賃では入居者はいない。全部空き家である。現在真砂で空き家を紹介しているが、家賃は3～4千円である。2万から3万円の家賃では入居者はいない。          ②市営住宅に入って年収が上げれば退去となる。その時、入居者が地域に残るかと言えば残らない。          ③現在 真砂に住みたい人が3名いるが、家がない状況。地域の事を考えた行政を行ってほしい。          ④真砂の市営住宅は1戸水洗化されたが、残り4戸は整備しない方針を聞かされている。廃屋とするのか。</p>	<p>二川地区でも同じ意見が出ました。市では、公共管理施設の見直しをする予定です。市街地と分けて検討する必要はあると思います。住民と市との対話が少なく感じており、一律の法律では平行線のままですので「特区」の扱いなど議会としても意見していきます。</p>
11	<p>日晩山登山道「県自然観察路」管理について          地区の人で枝の伐採や除草をしながら管理しているが、行政からの支援を頂きたい。</p>	<p>市から県に対応をお願いしており、今後何らかのアクションがあると思います。</p>
12	<p>除雪について          市長が真砂に来られた時にも話をした。今の行政の除雪の対応は積雪14cmとなっている。積雪があった時は、市に連絡して、その後市の職員が現地で積雪量を確認して、業者に除雪を委託する仕組みとなっている。市から当地までは25分程度かかり、それから確認して 市に帰ってから業者に委託では、朝の通勤時の7時30分頃には間に合わない。何のために連絡するのか分からない。除雪基準の積雪になった時は、市に連絡するのではなく直接自治会長が業者に連絡して早期の除雪対応をお願い出来るようにして頂きたい。市の対応は理解に苦しむ。除雪は昼前になる。</p>	<p>今後、経済建設委員会で、仕組みについて議論します。</p>

議会報告会意見集(平成29年10月23日)【匹見上】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	平成31年3月からは地区振興センターを廃止し公民館だけとなり職員1名減となる方向で進められている、また地区振興センターの役割は終わったと聞いたが、どの様に思うか。	公民館機能を中心に考えており基本的に地区振興センター機能は別です。地域自治組織が確立すれば公民館業務以外の部分については地域の話し合いの中で進めていく事になります。合併時の議論で嘱託職員が配置された、そういった意味での役割の終わりではないかと思えます。意見の反映はしていきます。
2	地域自治組織の目標で、地域の事は地域でなど立派な言葉はある、しかし地域が本当に知りたい事柄がない、地域住民の協力を求めるのであれば言うよりも現状の説明をし、理解を得るべきではないか。	持ち帰り検討します。 ⇒地域自治組織は住民主体の地域づくりを目指す組織であり、行政としては、協働のパートナーとして位置付けています。地域自治組織が主体的に地域課題の解決を目指すことで、結果的に行政課題の推進にもつながるものと考えており、地域自治組織が掲げるまちづくりプランや活動計画を積極的に支援してまいります。

<機構改革・支所の見直し>

3	現地説明会により総合支所の体制変更により機能や規模が変わる、また人口割りから言うと職員が多いなどの説明を受けた。地区は広く住民サービスの低下はどうなるのか審議して欲しい。加えて総合支所から分室になると住民の意見が執行部に届きにくくなるのではないかと、地域自治組織に向け頑張っているが逆方向に向かっている気がする。議会として要望して欲しい。	支所機能の強化を目指すものです。執行部も内容を精査し説明していくこととなりました。議会としても内容の見直し等の検証し対応していきます。
4	美都・匹見は総合支所としての機能を残すのか支所だけの形で残すのか。人員少なくなった場合緊急時はどうなるか、住民支援が出来るか。	3課は廃止し本庁での対応となります。12月議会までには方向性が示されるのではないかと、あくまで機能強化が目的です。
5	総合支所の体制変更は支所機能の強化が目的と言われるが予算面なのかその他の事なのか本当の心を聞かせて欲しい。旧益田市民の考え方と旧美都・匹見住民の考え方に相違があるのではないかと、美都・匹見住民の心を思いやってほしい。	納得のいく説明が出来るよう執行部に伝えます。 ⇒別紙で回答
6	廃止や停止などの日付けは決定している、それに対し対応策などは抽象的であり具体的な事柄が示されていない、そのため市民は不安の払拭が出来ず逆に不安を増長させている。そのあたりを検討して欲しい。	市民の不安解消のため努力をするよう執行部へ伝えます。

<高齢者福祉>

7	地域包括ケアシステムは支所の見直し同様住民サービスの低下が心配される。生活範囲が広いので地区割りを住民目線に立って考えられないか。	市内5か所にセンター設置としています。
---	---	---------------------

<道路関係>

8	県道吉賀匹見線の工事通行止めの時間を1日完全封鎖でなく時間を区切り通行が出来る通行止めにして欲しい。緊急時や郵便等支障が出る。	実態を調査し、持ち帰って回答します。 →匹見総合支所建設課が業者、県に問い合わせをしました。11月13日県から回答が来て、9時から16時の間で通行止めにするとのことでした。ただし12時から13時の間は解除するとともに、通行量の多い道路であるため、臨機応変に対応したいとのことでした。
---	---	--

<議会運営・その他要望>

9	匹見に対する予算は市全体の1%前後(維持管理費)。これで強化が出来るのか。	詳細が判らないので判断できません。
10	災害時避難場所が必要だが、行政指定場所は自治会単位で行うと二次災害の危険のある場所もあり避難場所としての指定はどうなのか、公民館だけの取り組みではできない。また保健センター等無くなった場合建物はどうするのか。	全ての箇所が安全でないことは危機管理課も承知し議会でも指摘しています。建物をすべて廃止するわけではありません。
11	匹見は山で栄えた地域である。今伐期を迎えた木が多くあり、伐期が来た木は伐採すべき。東北や熊本など災害地に建築材として早急に提供し利用しよう議会としても考えて欲しい。	林業で栄えた事は承知しています。自伐林家においていかに搬出するかも課題であり、昔の形態に戻す事も検討中です。
12	独居生活や年金生活の人から募金集めるのは大変、募金は募金であり強制ではない、様々な募金で受領書に金額が記載されているのはおかしい。	所管が社会福祉協議会であるので関係組織に伝えます。

議会報告会意見集(平成29年10月23日)【道川】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	地域自治組織が当初と違った方向と思うが。地域をもっと大切にしてほしい。	意見のため回答はありません。

<機構改革・支所の見直し>

2	総合支所を今後どうしようとしているのか。(急に出て不安だが・・・) 支所が30年、地域自治組織31年で廃止。これから大丈夫か。	議会も急で驚いているが慎重に対応します。 ⇒別紙で回答
---	---	--------------------------------

<道の駅>

3	道の駅について (美都の道の駅との違いはなにか。益田市内に道の駅建設は絶対ダメ。赤字が出た場合はだれが補てんするのか。市職員からやる気があるのかと言われる)	道川の道の駅についてのご苦勞をお聞きしたので、参考にしながら意見していきます。
---	---	---

<地域間交流・中山間地域対策>

4	買物等交通弱者に対する対応 もっと広域に連携(広島との)してはいかがか。	中山間地・高齢化が進む地域についてはキヌヤなど買い物バスもあります。一般質問などを行っている議員もいますが、執行部へ問題提起していく必要はあると感じています。
---	---	---

<医療>

5	道川診療所について 診療所を閉所して18年が経過したが、そのままの状態でも老朽化している。昨年職員が見に来たが状況は変わっていない。対応をお願いしたい。	旧道川診療所については、美濃地屋敷で使用されていた古い道具が保管しており、その整理に併せ、建物の今後についても検討します。
---	---	---

<農業>

6	農業後継者育成(ひとづくり)をもっと進めてほしい。	農業委員会の制度改正があり、農地利用最適化推進委員を含め40名体制で取り組んでいるので、今後期待していただきたい。
---	---------------------------	---



<議会運営・その他要望>

7	<p>道川児童館が閉館して5年経過するが、そのままの状態になっている。特に遊具は危険な状態で安全面が心配である。道川児童館について小学校の跡地利用と併せて考えてほしい。</p>	<p>後日確認して回答します。 ⇒遊具については、見積もりをとり撤去が完了しました。 児童館の建物については、今後、美濃地屋敷の屋根の葺き替えを計画しており、茅の保管場所として利用できないか検討しています。</p>
8	<p>教員住宅を一般住宅にするなど、活用方法を考えたほうがよい。 (以前からいっている)</p>	<p>確認して後日回答します。 ⇒匹見町内他地区からも同様の意見を頂いています。これまで、匹見町内の教員住宅について、その利用頻度から有効な活用をとることで、道川地区1棟(4戸入り)、澄川地区1棟(戸建て)、匹見地区1棟(10戸入りのうち5戸)の修繕、リニューアル後に市営定住住宅への変更を行っています。 しかしながら、道川地区の1棟は2戸入りの住宅へリニューアルされ、2戸とも活用されているものの、他の物件については空き状況も現にみられます。今回の道川地区からの意見については、もう1棟教員住宅として残っている物件について体験型住宅としたいとのことですが、体験型という用途を考えれば、長期の入居物件とはならず、その後の維持管理等を考えても住宅として活用することが最良と言えるかという点もあります。また、解体にしてもかなりの出費を伴い、現時点では対応困難と考えます。 いずれにしても、学校も統合により地域から無くなっている状況で、教員住宅としての必要性は無くなっており、市営住宅へと変更するか解体するか等のあらゆる状況を踏まえての方向性を検討しているところです。</p>
9	<p>美濃地屋敷の屋根等管理が大変。 屋根のふき替えを考えて欲しい。 後継者も育成して欲しい。</p>	<p>茅不足、職人不足の現状があります。 支所より、茅をストックすることを地域自治組織の財源とした活用方法もあると聞いています。持ち帰り回答します。 ⇒匹見分室としても早急な対応が必要と考えており、葺き替えにかかる準備として、来年度、設計にかかる経費を予算要求したいと考えています。</p>
10	<p>水洗トイレが使えなくなるなど、道川地区振興センターは、避難所として不適合である。発電機設置の要望をしたがダメだった。道川小学校跡は適合すると考えるが。</p>	<p>持ち帰り回答します。 ⇒益田市は、災害が発生し、避難生活が長期化する場合に、地区振興センターや小中学校の屋内運動場を指定避難所としています。道川地区の場合、道川地区振興センター(想定収容人数50名)と旧道川小学校の屋内運動場(想定収容人数144名)を指定避難所としています。</p>
11	<p>米軍低空飛行の現状がある。</p>	<p>意見のため回答はありません。</p>

議会報告会意見集(平成29年10月24日)【豊川】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	地域自治組織の必要性について 自治組織の県内の取組状況はどうか。益田市市内においても9地区が進んでおり、中心部の益田・吉田・高津は進んでいない。豊川地区は自治組織を立ち上げたが、なぜ必要なのか明確なことが見えない。議員が一般質問されたが、市長の答えは回答になっていない。これを市民に押し付けている。	高齢化・少子化について人口密度の高いところは、危機感がないが、中山間地は深刻です。
2	地域自治組織の推進と一方ではコンパクトシティを唱えている。地域自治組織は誰の為に進めるのか。それは市の職員の為である。市職員の給料は約800万円、民間は約250万円。益田市と浜田市を比べたら、昼間働いている人口は5000～7000人浜田の方が多いと言われている。議員はシビアな目で意見を言ってもらいたい。	意見のため回答はありません。
3	地域自治組織の考えが行政内でぶれている。 このぶれで被害を被るのは、地域住民である。ひとつの方向性を出したなら、しっかり進めて頂きたい。	意見のため回答はありません。

<機構改革・支所の見直し>

4	美都・匹見総合支所のあり方について 美都・匹見の支所が縮小傾向にあると聞いたが、中山間地には手厚い支援はして頂きたい。押し切るのではなく、地域住民が安心して暮らせる体制づくりをお願いする。	中山間地域への支援を執行部へ意見します。 ⇒別紙で回答
---	---	--------------------------------

<道の駅>

5	道の駅的具体案について 道の駅的具体案は、何時頃までに出来るのか。	基本計画策定後であり、今年中に出る予定です。
---	--------------------------------------	------------------------

<街路灯設置事業>

6	<p>街路灯設置補助金事業の補正について 3カ所設置予定で設置場所や取り付け許可等協議して申請したら、補助金が打ち切られていた。事前に連絡をして頂きたい。改めて予算化をして頂きたい。 当初の申請書類には期間が明示してあった。しかし、途中で打ち切られた。</p>	<p>今後、設置事業がある時には、迷惑を掛けないようにします。</p>
7	<p>街路灯設置補助金事業の補正について 今回の申請は公民館から久々茂までの通学路に設置を予定していた。国道沿いであり中電・NTTの同意が必要であり、同意後申請したら打ち切りであった。補正予算処置をお願いする。</p>	<p>行政に意見を反映させます。</p>

<萩・石見空港対策>

8	<p>萩・石見空港 萩・石見空港の注力する事業4点について、具体的施策が見えない。利用促進の時の話は、利用状況のことだけである。戦略があつてこそ、戦術が生まれて来る。萩・石見空港圏域の実態分析を行政はする必要がある。お金だけの負担ではない。年金生活者への利用促進も必要だが、呼び込む努力が必要である。民間の力を利用した利用促進に向けて知恵を出すべきである。例えば鹿児島島の綾町。</p>	<p>地域の発信力が必要です。執行部と内容を詰めて展開していきます。</p>
---	---	--

<議会運営・その他要望>

9	<p>ひとまるビジョンの活用について 1)朝夕の放送だけが主体となっているが、この事業には多額の費用が投入されている。もっと活用をするべきである。各家の軒下までは光ケーブルが設置されているので、それを使用しないともったいない。現在の状況では同軸ケーブルで十分。もっと言えば無料電話も使える有線放送で良かった。独居老人支援システム「サスケ」の活用も一つである。 将来 設備更新時の費用が心配である。 2)ひとまるビジョンの加入率向上ではなく、光ケーブルの活用方法を検討すべきである。ケーブルテレビとしての需要は少ない。ひとまるビジョンを活用して、ボタンを押したら市役所や消防に繋がる装置をつける等も一つである。</p>	<p>加入率向上に向けて、行政、会社と一緒に努力していきます。</p>
10	<p>議員の姿勢について 空港で道の駅の視察に行かれる議員と話した。視察が活かされているのか。議員の活動は市民が見ている。無駄なお金は使いたくない。視察は遊びに行っているのではないかと、危惧している。</p>	<p>視察は議員活動に活かされています。</p>

11	<p>自治体のプロモーションビデオの作成について  益田市も文化・観光資源を活かしたビデオを作成されては如何ですか。話題になれば、益田市への誘客も多くなる。益田市からの発信が必要である。市職員の意識はどうか、職員に覇気がなく、もっとやろうという気持ちが感じられない。</p>	意見のため回答はありません。
12	<p>議会報告会について  地元議員以外との対話も意義深いと思う。</p>	意見のため回答はありません。
13	<p>市長と語り合う会のあり方について  会の持ち方について、市長と語り合う会になっていない。市長の話聞く会になっている。時間も1時間に区切られ、話し合いにはならない。市長と語り合う会ではなく、益田市施政について語り合う会として頂くと、市長がおられなくとも会の運営が出来るし、参加された行政の方も住民意見を真摯に聞いて頂けるのではないかと。  時間設定は最低でも2時間お願いする。  行政としての施策を届け、住民の意識改革をお願いする会とすべきである。</p>	本音で話すことができるよう執行部に提案します。

議会報告会意見集(平成29年10月24日)【東仙道】

<地域自治組織>

No.	意見等	回答
1	「地域の暮らしサポート事業」について 実施主体は地域自治組織か。ハード事業のみか。 カフェ等の収益はどうなるのか。	実施主体は安田地域づくり協議会です。地域自治組織にすべて直結しているかどうか承知していませんが、ソフト事業もあります。補助事業であるので、一部負担の扱いになるのかもしれませんが。収益があれば必要な手続きはあると思いますが、不明な点は執行部に確認します。 ⇒暮らしのサポート実証事業の実施主体は安田地区地域自治組織「安田地域づくり協議会」であり、協議会を中心に地区内の様々な活動団体が連携して事業を実施することになっています。 暮らしのサポートに必要な改修として津田駅舎の改修を事業に組み込んでいますが、基本はソフト事業ですので、地域に住み続けるための条件作りのための実証事業を行います。 法人化は現在検討中ですが、カフェ等の収益については、会の収益として計上し、税処理も含め、きちんと処理する予定です。

<機構改革・支所の見直し>

2	総合支所の見直しについて、どうなるのか。	執行部から、地域協議会に提案するという説明を受けたところです。12月にその状況について議会に報告される予定で、議会も注視しており意見反映していきます。 ⇒別紙で回答
---	----------------------	---

<学校・教育関係>

3	本市は学力テストの結果が悪い。学力向上について視察しているが、どう反映されているのか。学校校舎は寒暖差が厳しい。環境整備を。	福井県視察の状況報告。三世同居の家庭環境など、支援体制の相違もありますが、家庭学習の必要性や環境整備については学校視察していること、エアコン設置の請願を採択したことなどを報告しました。 議会としても引き続き意見反映していきます。
---	--	---

<道路関係>

4	山陰道「益田～三隅」、および県道「元町人麿線」について状況を教えてもらいたい。	須子の9号線側に橋脚ができていますが、島根県と市が一体となって道路を作る事業の一環です。H27年度に約300万の予算措置、H28年度約1000万の予算措置があり、今年度早く4200万予算措置をしています。元町～人麿線及び須子～中線の整備に合わせて今用地取得費が出たところです。県と一体となって整備をしますがH32までの計画です。
---	---	--

<鳥獣被害対策>

5	美都町内も高齢者が多く危機的状況になっている。鳥獣被害対策推進対策特別委員会を設置されたということだが、説明を。	鳥獣被害対策については経済建設委員会が所管ですが、議長が諮問して特に重要な課題に特化して特別委員会を設置しています。鳥獣被害に関しては6年間継続してやっています。クマは県の管轄ですが、イノシシなどについては電気牧柵(上限30万円1/2の補助)などが効果的です。猟友会のメンバーの高齢化などの課題もありますが、地域自治組織の中に鳥獣被害対策を取り入れている地区もあり、目撃情報などを共有しています。行政、議会、市民それぞれが、できることをしっかり努力していくことが大切です。
---	--	--

<議会運営・その他要望>

6	介護や保育に関して、「もの」を作る(ハード)というのは良いが、ケアする人の雇用条件(賃金等)の改善が必要と思うが、議会は何かしているか。	地域包括支援センターの役割を説明。現場の職員が不足しているのは事実です。制度上の課題があり、国・県等に対して要望をしています。
---	--	---

議会報告会意見集(平成29年10月26日)【二条】

<学校・教育関係>

No.	意見等	回答
1	地域自治組織の推進をされているが、統廃合になれば逆効果になる。発言には注意が必要だが、お隣の中学校は荒れている。議員が知っておられるかどうか。統廃合すると地元の子とこちらの子との関係で、小中学校一緒の子のところに新たに入ると問題があるらしい。しかし学校側は荒れているとは言わない。ここの生徒は最後の文化祭で生徒一人ひとりがいろんなことを発表する。大きい学校より優れた面を持っているのに統廃合でそのような場がなくなっていく。また、先生と一緒に和太鼓をやったりとか、統廃合ではこのようなことが大切なのではないか。統廃合だけではなく、少年時代を過ごすときに先生とのつながりが必要と思っている。	意見については議会から教育委員会に伝えます。

<街路灯設置事業>

2	防犯灯について自治会長に調査依頼を出されたが、来年度はぜひ増やしていただきたい。危機管理から知らせが来たので、このたび出したが、これまではあっても知らなかった。申請が一度に重なったのであろうが、今年対応できなかった分を含めてお願いしたい。	街路灯LEDの設置については、途中での予算切れなど恥かしいことだと思います。来年度対応できるよう予算措置を求めています。
---	---	--

<空き家対策>

3	二条里づくりの会では空き家バンクに取り組んできたが、物件がすぐなくなった。民泊施設としてどのような支援があるか。交流人口の拡大ということになれば、いずれ民泊も挙がってくるのでよろしくお願ひしたい。	地域観光対策として支援があり、交流人口の拡大が目的です。
4	空き家のことで、民泊制度が来年度から180日間試行される。市の認可でできる。見ておいてほしい。	意見として承ります。規制緩和の関係なので勉強したいと思います。

<環境衛生>

5	ごみ問題について① 高齢化が進む中でごみの分別が難しくなっていくが簡素化できないか。独居老人が多く、男性が一人で暮らす中では難しいと思う。分別を簡略化してほしい。	高齢者の対応については、相談をさせてください。地域的に対応が難しいとなれば、市に担当する職員がいます。人数が少ないので難しいかもしれませんが、対応を議論していきます。
---	--	---

6	ごみ問題について② 個別にごみ収集をしてもらうには申請があるのか。	身体的にごみ出しが困難などの状況がある場合に市が個別に取りに行っています。具体的なことがあれば公民館から担当課に連絡してもらえれば対応が可能かもしれないので確認して回答します。 ⇒身体的事由等によるごみ出しが困難な方への支援も行っておりますので、このようなことがありましたら環境衛生課へご相談ください。
---	--------------------------------------	--

＜萩・石見空港対策＞

7	空港を他の面でも利用して、国からの支援をいただくことなど考えてはいないか。	言われることはよくわかりますが市としてそのようなことは考えていません。牛尾市長の時に空港大学の誘致を進めたこともありましたが、その後はありません。県営空港でもあり市としては持っていません。南海トラフ地震のときの避難空港として検討したこともありましたが、無理でした。
8	萩・石見空港対策特別委員会について、市は年間どれくらい持ち出しをされているのか。	県がおおよそ1億円くらい、市が7000万円、そして県が4000万円追加したので2億以上の対応となるが、これは過疎債 を使っており交付税で返ってくるものです。2年間2便化継続となりました。 ⇒(確認) 県:(当初予算)1億3000万円+(6月補正)5000万円+(11月補正)2億4000万円 協議会:1億500万円(うち益田市8800万円) →市の負担は8800万円

＜鳥獣被害対策＞

9	鳥獣被害対策を里づくりの会で行っている。駆除ではなく防除を中心に行っている。防除できないものを駆除している。他の地区ではどのくらいやっておられるか。	28年度の捕獲頭数について、益田全体の数字で、イノシシは益田地域で667頭、美都249頭、匹見61頭です。
10	2年位前、市議会に鳥獣被害対策推進特別委員会のメンバーが7~8名来られて、二条の実情を説明し、要望した。二条は山口県との県境であり、サル、イノシシなど鳥根県が追うと山口県に逃げる、山口県が追うと鳥根県に来るという実情がある。両県で一度対策について協議してほしい。	二条は駆除について先進地なので参考にします。両県にまたがることについては、両県で協議したいと思います。 ⇒【山口県と鳥根県の連携協議の可能性について】 ツキノワグマについては鳥根県と山口県は連携がありますが、サル・イノシシについては、捕獲許可権限等の所管が市町へと移管されているため、連携協議がありません。 ご意見にあるような現場レベルの対策については県単位での連携協議ではなく、益田市と萩市との間での協議が必要となりますが現状では困難ではありますが議会としても検討していきます。



11	<p>猟銃の免許証をもたれる方が少ないので、これから若い方が持っていただくためにその補助をお願いしたいと申し出ていた。その後何ら返答がないがどのようにになっているのか。</p>	<p>【後継者育成に向けた狩猟免許に対する補助について】          狩猟免許取得に関しては、島根県における免許所得者数が、年度による変動が見られるものの、総じて増加の傾向にあるのに対し、第一種銃猟狩猟免許所持者数の減少が所持者の高齢化等を原因として、より顕著であることから、猟銃の所持許可に対する補助の実施が効果的と判断し、第一種銃猟狩猟免許取得者を対象とし、猟銃の所持許可に係る経費に対し上限4万円の補助金制度を整備しています。こちらをご活用いただきたいと思います。</p>
12	<p>鳥獣被害対策推進特別委員会を二条でされた際の回答がない。聞きっぱなし。議事録を取られているので、必ず回答されたい。</p>	<p>益田市議会として平成28年12月16日付で島根県へ意見書を提出し要望しています。          ⇒別紙1 鳥獣被害対策推進特別委員会審査報告書          ⇒別紙2 有害鳥獣対策の推進を求める意見書</p>

<議会運営・その他要望>

13	<p>人口拡大といわれても西南中学校がなくなればどうかなあと思う。西南中学校の子どもさんたちはいい子ばかりです。学校がなくなれば人が住まなくなると思う。</p>	<p>今のご意見は、懸念事項として伝えていきます。</p>
14	<p>ほたるニコニコ会がほたる会館で高齢者向けのいきいきサロンをしている。社協から1万円の助成を受けているが、金額的に少額。市の助成はないのか。高齢者のサロンへの送迎をしているが助成がない。講師の謝礼を出すのも大変。          ほたる会館は市の指定管理で地元が受けているが、市からもらう指定管理料は浄化槽にかかる経費分194,000円のみ(それは業者への支払いにそのまま行ってしまう)。何かする時は自分たちで負担することになる。もう受けるのをやめようかとも言っている。もう少し助成してもらえないか。あと、いきいきサロンの助成も増やしてほしい。</p>	<p>・指定管理料については市の考えもあるが、地元の意向もあるのできっちり調整してもらいたい。          ・高齢者が楽しみにしている生きがいの部分の取り組みに1万円の金額では限界だということを知ったので執行部に話をしていきたい。          ⇒現在、市からは介護予防事業の一環として、益田市社会福祉協議会に助成しております。          ほたる会館振興会様とは「益田市立ホテルの里農業センターの管理に関する協定書」において、委託料の額を「各年度21万円を上限として、対象年度の開始前に対象年度の予算の範囲内で、甲乙協議した上で定めた額」としています。          委託料算定根拠は、以下のとおりです。          ・浄化槽維持管理委託料 185,760円(3年契約 557,280円÷3年)          ・定期検査料 5,500円          計 191,260円(上限210,000円)          議会として、事業精査についても問題提起をし、執行部側に伝えていきます。</p>

<道の駅>

No.	意見等	回答
1	道の駅の経済的効果や費用対効果について <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅は大変である。</li> <li>・納税者としては反対である。</li> <li>・採算が採れるか心配。</li> <li>・誰がやるのか、若者はいない。</li> </ul>	基本計画策定の中で資料が出てくると思います。

<学校教育関係>

2	小中学校各教室に冷暖房をつけてほしい。 22名でやって欲しい。成績も上がる。	9月議会で益田市内の小中学校に、早急にエアコン設置を求める請願が採択されました。教育の平等の点からも必要であり、執行部に言っています。
---	---	---

<国民健康保険>

3	国民健康保険について 保険が一元化 → 保険課はいらなくなるのか。	国保財源の安定のため、新年度から広域化されます。保険課がいらなくなるというわけではなく、運営の一部県が担うこととなります。
---	--------------------------------------	---

<環境衛生>

4	<p>ノラネコ(地域ネコ)が多くて困っている。環境衛生課に頼んでガーデンバリアを借りたが効果がない。山口市では飼い猫条例があり、首輪をして飼いなさいといったことが定められている。益田市でも議員提案でもぜひ作ってほしい。</p>	<p>持ち帰り検討します。          ⇒山口市では、「山口市の生活環境の保全に関する条例」第42条に基づき、猫を飼養する者に対し、自ら飼養していることを明らかにするための措置(首輪)を講じることを遵守することを求めています。ただし、遵守しない場合の罰則規定は設けられていません。また、繋いで飼うような規定はありません。          島根県でも、「動物の愛護及び管理に関する法律」第9条に基づき、動物の飼養及び保管について、動物の所有者又は占有者に対する指導等の必要な措置を講ずるため、島根県では、「島根県動物の愛護及び管理に関する条例」を制定しています。          その島根県条例第7条の中でも、飼い猫には、首輪等により、所有者を識別できるような措置を講ずるように努めなければならないこととされています。          犬については、生命・安全への危険が伴うため、「けい留」することが義務付けられ、罰則規定が設けられています。          一方、猫については、調査した限りでは、他県、他市においては、猫の首輪についての規定はあるもの、猫の「けい留」を義務付けている条例はみられません。          動物愛護法に基づき、野良猫の収容等は、島根県でも実施されていません。そうした中、猫の被害を防止するための策が中心となっており、ガーデンバリア(猫除け機)の設置や地域猫(不妊・去勢による適正飼養)により、被害を防止する取り組みが進められています。          よって、今後も、島根県と協力しながら、野良猫対策を進めていくことが重要であると考えます。</p>
---	---	--

<ファクトリーパーク・企業誘致・産業振興>

5	<p>企業誘致について          どのくらいあるのか？一般質問を聞いてもわからない。(かつては大阪事務所に拠点をおいていた)どのくらいアタックしているのか。</p>	<p>県へ2年派遣したが最後のつめができませんでした。県の企業誘致部門に人材派遣しました。高速道路がないのもネックです。</p>
---	--	--

<萩・石見空港対策>

6	<p>石見空港利用の助成金          2人利用の場合のみで、1人利用の場合も助成してほしい。</p>	<p>財源の問題もあり、1人についての助成は難しいと思われます。1人の利用でも期間中の二往復利用や、乗り継ぎ助成などはあります。</p>
7	<p>空港の費用対効果について          費用対効果は出せないと執行部は言っている。</p>	<p>パワーポイントの内容でご理解いただきたいと思います。</p>

<議会運営・その他要望>

8	<p>実質公債費率とは一般の人にはわからない。          実質公債費率15.3% 健全化 35%以上          赤字ではない。累積赤字はあるはず。疑問である。          借金をして返済がいくらあるのか。財政状況がわかりにくい。</p>	<p>まんがチックに説明すべきなのか、数字で説明すべきか検討します。会計法が変わってきているのでわかる人はみてわかると思います。</p>
9	<p>税金の使いみち          道の駅は反対だがテレビ等でみると色んなことをしている。持ち出しがあるようではダメだ。誰がやるのか大事な税金を使ってやるのは反対である。第三セクターきのこハウスなど税金を使うならきちんとしたものを作って欲しい。</p>	<p>基本計画策定中です。</p>
10	<p>リフォームに補助金が出ているが、リフォームできれいにした所は固定資産税の対象にならず固定資産税は払っていない。条例をつかって徴収するべきである。はがゆい。</p>	<p>おっしゃっていることは理解できます。</p>
11	<p>質問書提出          ・議会報告会の意見を反映するといっているがなっていない          ・クラインガルテン反対          ・美都給食センターは山本市長の公約であるから賛成したが、美都にどれだけかかっているのかわからない、財政上むりでは。          ・意見を言いつばなし聞きつばなしにせず監視検証して欲しい。市民が今どんな問題を抱えているか一番知りたい事は何か。</p>	<p>質問については意見として受け止め回答は控えますが、意見を言いつばなしにしないように努めていきます。</p>
12	<p>実質公債費率について(15.3%)          2市・2町が比率が悪い(健全35%以上)          出生率がいいがもっと良くする為にお金を使うべき。仕事を民間にやらせて人口拡大をさせていくべき。          公務員がしなくてもよい仕事を民間にふる。</p>	<p>基本計画策定中です。</p>
13	<p>条例について          今、条例を幾つつくっているのか。          益田で大事なことを一緒にやって欲しい。食と農について条例(案)を見ない人が多いと思う。          意見を反映させて欲しい。市民が分からない。</p>	<p>議会提案では2つです。</p>

14	<p>指定管理料について          みたランドゴルフ場について指定管理料を出しているにもかかわらず利用料が高い。</p>	<p>補助金が入っているので公表していくことが必要だと考えます。執行部へ伝えます。          ⇒ご利用ありがとうございます。          指定管理委託料は良好な管理運営を行うための経費から歳入(利用料金等)を減じた金額で支払いをしています。指定管理委託料金や指定管理者を決定する際には、事業者から事業計画を提出していただき、プレゼンテーションを行い決定しています。その際に利用料金の設定についても提案され承認しています。</p>
15	<p>ゆずっこは自販機で買えない。なぜペットボトルにならないのか。ピンは困る。全国的に宣伝しているのにダメである。</p>	<p>大田で作っているがペットボトルだとコストがかかるため実現していません。</p>
16	<p>50年前駅前を高架にすることに市が反対をした。駅と駅の連絡橋とセットで建替えをするという噂が流れているがどうか。かなり費用がかかると思うが。浜田のように造るという噂である。</p>	<p>議会にそういった話はなく、噂としても聞いていません。今までの経過も含め厳しいのではないかと考えます。          全体の駅前開発の構想がない中であるので、議会としても費用対効果を検証しながら考えていきます。</p>

機構改革・支所の見直しについての執行部からの回答

機構改革・支所の見直しについては多くの地区からたくさんのご意見をいただきありがとうございました。

意見等	回答
<p>・現地説明会により総合支所の体制変更により機能や規模が変わる、また人口割りから言うと職員が多いなどの説明を受けた、地区は広く住民サービスの低下はどうなるのか審議して欲しい。加えて総合支所から分室になると住民の意見が執行部に届きにくくなるのではないかと、自治組織に向け頑張っているが逆方向に向かっている気がする。議会として要望して欲しい。</p> <p>総合支所の体制変更は支所機能の強化が目的と言われるが予算面なのかその他の事なのか本当の心を聞かせて欲しい。旧益田市民の考え方と旧美都・匹見市民の考え方に相違があるのではないかと、美都・匹見市民の心を思いやってほしい。</p> <p>・総合支所について廃止や停止などの日付けは決定している、それに対し対応策などは抽象的であり具体的な事柄が示されていない、そのため市民は不安の払拭が出来ず逆に不安を増長させている。そのあたりを検討して欲しい。</p> <p>・美都・匹見総合支所のあり方について 美都・匹見の支所が縮小傾向にあると聞いたが、中山間地には手厚い支援はして頂きたい。押し切るのではなく、地域住民が安心して暮らせる体制づくりをお願いする。</p>	<p>このたびの見直しにあたり、現在の3課体制を1課3分室にする案を地域、議会にご説明しましたが、現時点で総合支所の廃止等は考えておりません。また、この案は現在調整中であり、市民サービスの低下を招かないよう、一気に本庁に事務を移管したり、急激に職員数を減らしたりすることは、考えておりません。</p> <p>まず総合支所の見直しの方向性として、支所機能の強化を掲げています。これは、特産品の関係事業に代表される地域課題について、これまで支所が対応してきましたが、これからは、そういった地域の課題について益田市全庁あげて取り組む体制を構築し、政策として事業を行うことで、支所の機能を強化していこうとするものです。</p> <p>これまで、美都・匹見両地域に関係する事業はそれぞれの総合支所内で行うこととしておりました。例えば、先に述べました特産品に関係する事業について、同じ農業関係の事業でありながら、本庁の農業関係部局は主体的にかかわることが出来ない体制となっていました。</p> <p>今回の見直しは、こういった状況を変え、美都・匹見両地域の振興を市全体の政策として考えていこうとするものです。地区内の課題に対し、支所職員のみでの対応ではなく、本庁各部局職員をあわせた対応を行うことで、専門性をもった対応も可能となります。</p> <p>また、事業を推進する予算に関し、これまで支所の予算としていましたが、今後本庁一括とし、枠を大きくすることで、執行しやすい体制といたします。そうすることで、指揮命令系統がはっきりし、住民のみなさんの意見が執行部に届きやすい体制となるよう努めてまいります。</p> <p>益田市は、多くの地域が中山間地域といわれる条件不利地です。そして人口減少やそれに伴う財政の縮小が懸念されます。そうした状況の中で、今後中山間地域で安心して暮らし続けるためにどのような対策が必要となるかを、行政だけでなく市民のみなさんと共に考えていきたいと思っております。</p>